

MF 70026・70027

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

施工者様へのお願い

器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行って下さい。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

安全に施工していただくために

⚠ 警 告

- この器具は一般屋外用庭園灯器具です。壁や天井に取付けをしないでください。火災・落下・感電の原因となります。
- 取付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。取付けに不備があると、火災・感電・ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書に従い確実に行ってください。接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
- 器具を改造は、しないでください。感電・火災・ケガ・故障の原因となります。
- 水はけの悪い場所や、水のたまるくぼ地には取付けしないでください。漏電・感電の原因となります。

⚠ 注 意

- 器具に表示された電源電圧の±6%以内で使用してください。火災・感電の原因となることがあります。
- 器具の取付け方向には制限のあるものがあります。器具表示にしたがって正しい向きに取付けてください。火災や感電の原因となります。
- アース工事は、技術基準にしたがって確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 周囲温度 5～35℃の範囲で使用してください。火災の原因となります。

■取付方法

図は抽象化した共通図です

1.施工前の確認。

- 施工に関しては、電機設備技術基準・内線規程にしたがって施工してください。
- 電源線を所定の位置まで配線してください。右図参照

2.灯具をはずす。右中図灯具の脱着を参照。

- 灯具を取付けネジ(M4)2本をゆるめ、灯具を支柱から外してください。

3.支柱に電源線を通す。

- 支柱に電源線を通し、支柱から出してください。

4.ネカセを支柱に挿入し、所定の位置にセットする。

右中図参照

- 取付けが不十分な場合、転倒・傾きの原因になります。

5.電源線を接続する。右図電源線の接続を参照

- 第3種接地工事を行ってください。

アース工事は、電気設備の技術基準にしたがって行ってください。※接続が不十分な場合、感電・火災の原因となります。

6.電源線を固定する。

- 結束バンドで電源線を固定してください。

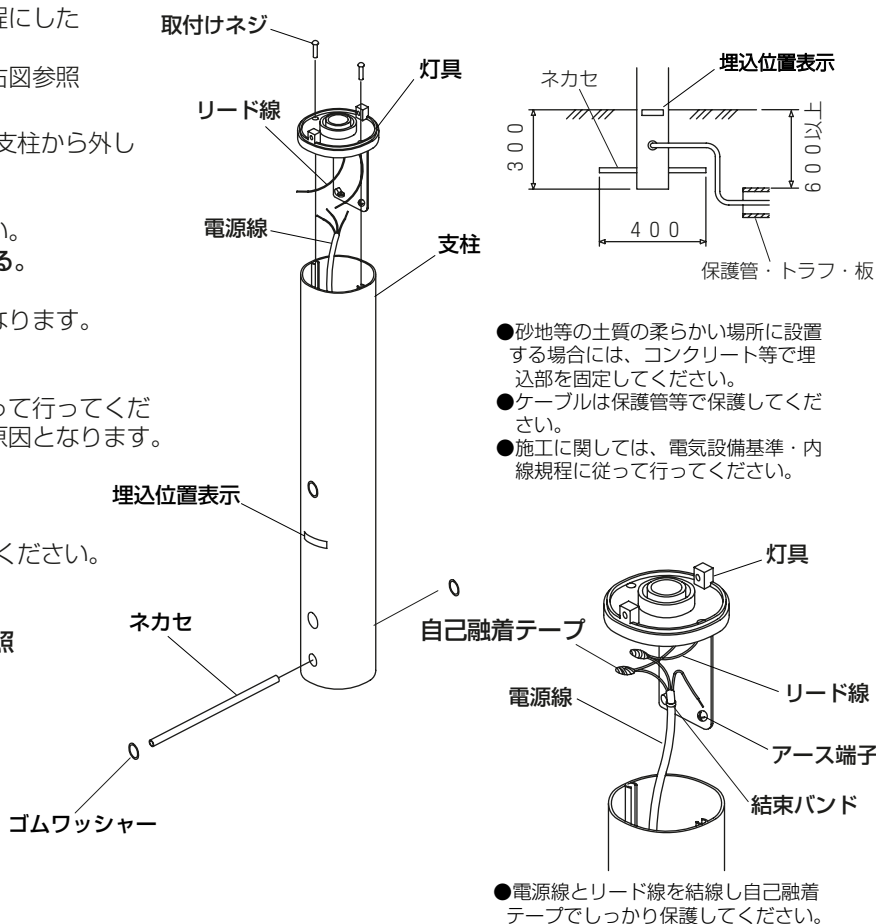
7.灯具を取付ける。右図灯具の脱着を参照。

- 灯具を取付けネジ(M4)2本で確実に取付けてください。

8.ランプを取付ける。裏面電球交換を参照

- 同梱のランプを確実に取付ける。

9.カバーを灯具に取付ける。裏面カバー脱着を参照



ご使用前に、この説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。

保管用

安全にご使用いただくために

⚠ 警 告

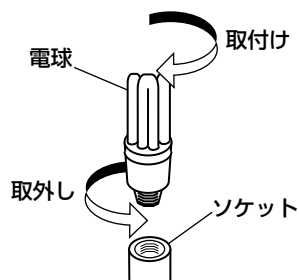
- 器具や電球(ランプ)を布や紙など燃えやすいもので覆わないでください。**火災・感電の原因となります。**
- 電球(ランプ)交換の際には、本体表示にしたがって、指定された電球(ランプ)を使用してください。指定以外の電球(ランプ)を使用すると、**火災や器具故障の原因となります。**
- 器具を改造しないでください。**火災・感電・器具故障の原因となります。**
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、**火災・感電の原因となります。**すぐにスイッチを切ってください。異常がおさまったことを確認して、電器店工事に修理をご依頼ください。

⚠ 注 意

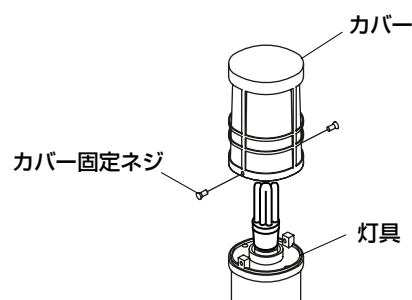
- 電球(ランプ)交換や、お手入れの際は、安全のため電源を切ってから行ってください。**やけど・感電の原因となることがあります。**
- 電球(ランプ)と商品などの被照射物との距離には制限があるものがあります。器具表示にしたがって十分な距離をとってください。商品の退色だけでなく、**火災の原因となることがあります。**

■電球(ランプ)交換

- 電球の交換は、電源を切り器具の温度が下がってから行ってください。点灯中や消灯直後は、**やけどや感電の原因となることがあります。**
- 電球交換の際には、本体表示にしたがって指定された電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、**火災の原因となることがあります。**



■カバーの脱着



取付け

- カバーを灯具に被せ、カバー固定ねじ(2箇所)締め付け固定する。

取外し

- カバー固定ねじ(2箇所)を外し、カバーを取外す。

■器具の保守・点検

- 照明器具の取り替え時期の目安は、通常のご使用状態においては約8年から10年です。安全に使用するために、5年に1回程度の器具の点検および6ヶ月に1回程度の清掃を行うようにお願いします。
- 汚れを落とす場合は、石鹼にひたした、柔らかい布をよく絞って、ふきとり乾いた布で仕上げてください。シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変質の原因となります。



お客様相談窓口

マックスレイ株式会社

東京 03-3791-2711
大阪 06-6967-0123
名古屋 052-252-9556
福岡 092-431-7824